

【原爆忌】 原爆の日

広島忌は八月六日で夏の季語、長崎忌は八月九日で秋の季語である。

一九四二年一二月八日、日本の理化学研究所で仁科芳雄が原子爆弾の研究活動を開始した。米国のマンハッタン計画も一九四二年に開始された。

一九四五年八月六日、広島にリトルボーイが自動投下され、四三秒後に核分裂を起こした。広島の原爆死没者名簿に今、二八万六八一八名が記載されている。

八月九日、長崎の上空九六〇〇メートルで投下された爆弾が、高度五〇〇メートルで核分裂を起こした。自然には少ないプルトニウム二三九が巨大プラントで生産されて使われ、一四万九千人が死亡した。

終戦の日にラジオで仁科が原子爆弾を解説した。一九四五年七月一六日のトリニティ実験以来、大気圏外、大気圏内、水中、地下で、今までに二三七九回の核実験が多く、の国家によって行われてきた。

一方、原子力発電所は、二〇一〇年現在、世界に四三七基あるという。核燃料物質は、核分裂や核融合でエネルギーを利用するが、ときに大災害をもたらす。このような核物質を子孫に残さないために、それらの生産をまずやめて、核物質を安全なものにする技術を確立することが今なすべきことではないだろうか。